東海化学工業会のご案内

バイオテクロノジーを応用して開発された新品種の「**アルストロメリア**」
（東海化学工業会 会報 2002 年 1 月号）

東海化学工業会

東海地区における**「化学技術の水準向上」**、**「化学関係諸団体との連携強化」**、**「会員の教養向上・親和の増進」**を目的として、昭和 39 年(1964 年)に設立されました。以来、本会は、東海地区の化学工業に関連した学界・官界・産業界を横断的に結び付けた特色ある団体として、今日まで約 40 年間にわたり幅広い活動を行っています。

東海地区では、日本の「ものづくり」の中心地として、独創的で高度な技術力を持つ研究機関や企業が数多く活動しておりますが、今後、次世代を担う新しい産業技術を創出育成していくためには、当地区での学界・官界・産業界の密接な連携はもちろん、従来にない異業種間での共同研究や技術提携などの融合を進めることが重要になってくるものと思います。

主な事業の概要

幅広い活動を通じて、東海地区における新産業技術の創出育成を支援しています。

化学技術の水準向上

- **講演会の開催**

  化学技術に関連した興味深いテーマを取り上げて、講演会を開催するとともに、講演会終了後は、講師を囲んだ懇親会を実施しています。

- **見学会の開催**

  最先端技術を駆使した工場設備や研究施設などの見学会を実施しています。見学会に合わせて、現地で関連する技術講演会も開催しています。

- **東海化学工業会賞の表彰**

  毎年、化学に関する進歩発展に貢献した技術開発に対して、当会の表彰審査　委員会での審査を経て「東海化学工業会賞」を贈呈しています（技術２件、学術４件以内）。受賞者には、当会の総会において表彰式を行うとともに、受賞記念講演を行っていただいております。

会員への情報発信

● **会報の発行**

会員の皆様へのコミュニケーションツールとして、会報を年４回発行しています。会報には、最新の技術開発情報、化学工業の動向、会員からの情報提供、各種研究機関の紹介、行事予定などを掲載しています。

会員相互の親和増進

● **新春懇話会の開催**

毎年１月新春懇話会を開催して、会員相互の親和を図っています。この会では、新春特別講話、会員各社からの寄贈品による福引き、留学生の招待など、様々な趣向をこらした企画を行っています。

化学関係諸団体との連携強化

● **化学関係学協会 合同事務局の運営支援**

東海地区に支部を置く１５学協会（※）等の合同事務局を設置して、その運営を支援しています。合同事務局では、各学協会の連携強化に努めています。

（※）日本化学会 東海支部／化学工学会 東海支部／表面技術協会 中部支部／高分子学会 東海支部／色材協会 中部支部／電気化学会 東海支部／日本原子力学会 中部支部／日本接着学会 中部支部／日本分析化学会 中部支部／日本油化学会 東海支部／有機合成化学協会 東海支部／日本セラミックス協会 東海支部／日本セラミックス協会陶磁器部会／中部化学関係学協会支部連合協議会／東海化学工業会

本会では、こうした新産業技術の創出育成をバックアップするため、引き続き、幅広い分野での**最新技術情報の提供**、**会員相互の連携強化**や**コミュニケーションの深化**になお一層努めてまいります。

会員 制 度

当会では、事業活動のより一層の拡充・強化を図るため、広く皆様方の入会を募集しています。

● **会　費**

	年　会　費	会　員　要　件
正 会 員（個人会員）	３，０００円	本会の目的にご賛同いただける個人
特別会員（法人会員）	１８，０００円（１口）	本会の目的にご賛同いただける団体

● **入会手続き**

入会をご希望される方（団体）は、事務局までご連絡ください。折り返し「**入会申込書**」をお送りします。

● **主な特典**

・ 当会が主催する**セミナー**、**講演会**、**見学会**、**新春懇話会**等へ（会員価格で優先的に）参加できます。
・ **会報**の配布が受けられます（年４回）。
・ **東海化学工業会賞**に推薦されることができます。
・ 当会が**共催・協賛する行事**に参加することができます。

事務局

〒460-0011　名古屋市中区大須１－３５－１８一光大須ビル
公益財団法人中部科学技術センター内
東海化学工業会
TEL：（０５２）２３１－３０７０
FAX：（０５２）２０４－１４６９
E mail：tcia@cstc.or.jp